

さんえすクラブ研修会が開催されました

さんえすクラブ会長 (株)浜食 中村 秀一郎



2015年4月11日に「さんえすクラブ研修会」が行われました。

今回は第1部に「2015年の組合員拡大強化について」と言う共通課題で、各地域生協より戦略や活動を発表して頂きました。

各地域によって若干政策の違いはあり

ましたが、子育て世代をターゲットとした消費材の開発やリニューアル等、さんえすクラブとの連携を考えて頂いていると言う点では一致していました。

第2部は分散会で生活クラブと福祉クラブに別れ

て、グループディスカッション「生活クラブ・福祉クラブの開発運動意見交換」を、両生協より大勢の理事の方々にご参加頂いて、短い時間でしたが有意義な意見交換ができました。

総括では、生活クラブの藤田副理事長からは、「福祉クラブとの連携も考え、勉強になる研修会でした。

また横のつながり、生産者同士・生産者と組合員などのコラボ開発も考えられるのでは。」とのお言葉を頂きました。

福祉クラブの児玉専務理事からは、「組合員拡大について生産者と考えを共有出来た事が良かった。」また、「なぜ?」を大事にする事を改めて思い出しました。」とお言葉を頂きました。

本当に短い時間の中で沢山の意見交換が出来た事に感謝し、さんえすクラブの活動に結び付けて行きたいと思います。

◆14年度さんえすクラブ研修会◆

- 開催日時：2015年4月11日(土) 14:00～17:30
- 開催場所：オルタナティブ生活館 2F オルタリアン
- 参加人数：さんえすクラブ12名 生活クラブ生協6名、福祉クラブ生協8名、ユニオン、事務局7名 合計33名

●内 容：

【第一部】テーマ「2015年の組合員拡大強化について」報告会
生活クラブ5地域生協と福祉クラブ生協よりそれぞれ報告

【第二部】グループディスカッション(2グループに分かれて)

Aグループは生活クラブ生協とさんえすクラブ、Bグループは福祉クラブ生協とさんえすクラブ、それぞれのメンバーによる分科会

グループディスカッション報告

Aグループ (株)ウエルライフ 石川京子

Bグループ (株)ニッコー 山崎雅文

まとめ 生活クラブ生協 藤田ほのみ副理事長
福祉クラブ生協 児玉英憲専務理事

- 懇親会：オルタナティブ生活館 1F レストランWeにて



分 散 会

Aグループ (株)ウエルライフ 石川 京子

今年度生活クラブが週次取り組みに伴い、49歳以下の子育て世代が多くなっているとの報告を受けました。

さんえすキャンペーンにおいて、若い組合員をターゲットにするには、まず、お得感を出すことが重要。若い方は価格に敏感であるので、割引は必要だが、消費材の他との違い、安全性など消費材の「価値」を伝えていかなければならない。

そのためにも、生産者交流会を開き生産者の消費材に対する思いを伝えていきたい。

また、組合員と、生産者の消費材の共同開発や、さんえすクラブ同士のコラボ消費材の開発を試みてみようのではないかと、貴重なご意見をいただきました。



Bグループ (株)ニッコー 山崎 雅史



今回このグループでは拡大がテーマというより、進めてきた開発消費材の実情や今後の開発に向けての非常にリアルで細かいところでの論議となり、有意義な時間となりました。

開発のテーマというのは、皆さんがそれぞれ現場で感じているところでの課題や思いを消費材という形にすることであるので、話は尽きることなく進めることが出来ました。

今後はもっと踏み込んでさんえすの名の通り三位一体の形で作っていったらと感じています。



拡大状況と さんえすクラブとの連携

生活クラブ生協 副理事長 藤田 ほのみ

生活クラブでは、2015年春に十数年ぶりとなる班個配の共同購入システムの改革を実施しました。その目的は、地域で多様な人たちの生活クラブへの参加を広げることです。

そして、持続可能な未来をおおぜいの人々の参加で作っていくことです。神奈川では、「生活クラブ・大作戦～サスティナブルな生活・サスティナブルな人をひろげましょう～」をキャッチコピーに、組合員、W.Co、職員が総力で様々な組合員拡大活動をすすめてきました。その結果、1月～6月で5,125人の新しい組合員の加入につながり、7月には、組合員数7万人となりました。特に、この春は子育て世代の方がたくさん生活クラブの仲間になりました。これからさらに、多様な世代の組合員の意見やニーズを反映させた消費材の開発などを、さんえすクラブの生産者のみなさんと一緒に進められたらいいなと考えています。



消費材の共同開発活動と さんえすクラブとの連携

福祉クラブ生協 副理事長 荒川 啓子

福祉クラブのサービスづくりが進み、子育て支援を利用する若い世代から高齢者までさまざまな組合員の参加があり、家族や身体の状況が変化してきている組合員、少数家族や単身者、高齢者、子育て世代それぞれに必要な消費材は、少量化、大容量による価格メリット、調理済み品、半加工品、素材など様々です。世話焼きW.Coの組合員対応や福祉サービスのケアの中から本当にいろいろなニーズが見えてきます。このような多様な層とニーズによる参加の組合員の「生活を支える共同購入」に必要な消費材を、福祉クラブではセンターごとに供給対策メンバーと福祉サービスメンバーが参加して開発活動をおこなっています。

「福祉クラブらしい共同購入運動をすすめていく」を実行するにあたって、福祉クラブへの理解の深いさんえすクラブのみなさんとの活動の連携はなくてはならないこと、消費材開発活動や生産者交流会を通してさらにお互いがさらに理解を深め、情報交換しながら福祉クラブ組合員に必要な共同購入を広げていきたいと思えます。

生活クラブ生協 班個配週次化以降の供給点検と対策 *第1四半期実績

生活クラブ生協 事業部副部長 森田 容幸

1. 4～6月供給高（4～6月確報）、組合員数の状況

表①【供給高、組合員数、世帯当り】

		供給高 (万円)	前年比	前々年比	6月末 組合員	前年比	前々年比	世帯当り	前年比	前々年比
横浜北	班	8,072	88.4%	77.9%	933	86.8%	79.2%	28,175	100.8%	93.5%
	個配	47,865	109.2%	110.9%	6,036	106.6%	108.6%	27,097	104.5%	104.3%
	班個配計	55,937	105.7%	104.6%	6,969	103.5%	103.5%	27,248	103.8%	102.0%
横浜みなみ	班	17,609	86.1%	78.7%	2,090	84.2%	77.0%	27,347	101.2%	98.3%
	個配	88,932	110.0%	111.7%	11,045	107.3%	110.0%	27,496	104.0%	103.7%
	班個配計	106,541	105.2%	104.5%	13,135	102.8%	103.0%	27,471	103.5%	102.5%
かわさき	班	8,752	90.2%	78.3%	1,076	88.3%	79.6%	26,714	103.7%	96.2%
	個配	47,377	109.1%	112.2%	6,020	104.2%	107.1%	26,588	105.0%	106.0%
	班個配計	56,129	105.7%	105.1%	7,096	101.4%	101.8%	26,608	104.8%	103.9%
湘南	班	16,481	83.7%	75.1%	1,995	82.9%	74.7%	26,943	99.8%	96.2%
	個配	81,552	112.4%	113.5%	10,332	107.8%	111.3%	26,883	104.9%	103.2%
	班個配計	98,033	106.3%	104.5%	12,327	102.8%	103.1%	26,893	103.8%	101.5%
さがみ	班	12,785	89.9%	81.9%	1,693	87.9%	80.5%	24,587	101.3%	98.1%
	個配	41,575	109.2%	110.4%	5,557	102.9%	104.4%	25,277	106.7%	105.9%
	班個配計	54,360	104.0%	102.1%	7,250	99.0%	97.6%	25,111	105.3%	103.7%
神奈川計	班	63,699	87.0%	78.2%	7,787	85.5%	77.7%	26,656	101.1%	96.8%
	個配	307,301	110.3%	112.0%	38,990	106.2%	108.8%	26,813	104.9%	104.3%
	班個配計	371,000	105.4%	104.2%	46,777	102.1%	102.0%	26,785	104.1%	102.6%

※2014年4月の消費税増税で供給状況の変化が大きかったため、前年比、前々比を併記しました。

1) 第1四半期の班個配の供給高は、前年比105.4%と大きく伸長しました。▶表①参照

- ・組合員の増加以上に供給高が上回ったのは、世帯利用の伸長が要因です。利用を押し上げた要因は、利用人員率UPによる世帯利用の増加です。
- ・個配は、組合員世帯数の増加と利用率UPで、前年比112%まで供給が伸長しました。
- ・班OCRの廃止で班の供給低下が懸念されましたが、個人OCRの利用率UPにより、組合員世帯数の前年比を上回る供給となっています。(班供給前年比87.0%、班組合員前年比85.5%)
- ・第1四半期供給高が前年比105%を上回っている地域生協は横浜北・横浜みなみ・かわさき・湘南の4地域生協です。

2) 新システムで利用率が高まりました。

- ・4～6月利用人員率は、班88.6%前年比108.3%、個配91.4%前年比103.8%と大きく伸長しました。

3) システム変更後の4月の供給高伸長が高く、5.6月は前年比102%を超える伸長率となっています。

- ・4月は昨年の消費税増税の影響、新システム切替前の3月にOCR3枚回収があり、その後の週次申込みの回収まで3週間間隔があいた影響もあり供給高は伸長しました。
- ・5.6月についても利用人員率が高く推移し組合員人数の伸長を上回る供給高伸長となっています。

福祉クラブ生協 (株)ニッコーさんの「平牧三元豚サクサク俵カツ」の開発について

福祉クラブ生協 物流部 南雲 彰

福祉クラブの供給対策会議では、共同購入活動計画を、「組合員と生産者との協同」という視点に加え、世話焼きW.Coとその他のW.Coとが連携して出来るよう組み立てています。

その中で、センター毎の企画として初山センターの福祉事業W.Coを加えて、さんえすクラブの生産者である加工食品の(株)ニッコーさんと「平牧三元豚のサクサク俵カツ」を開発し、2015年3月から供給を開始しました。「小家族でも手軽に美味しいカツが食べられてたすかっています」など、組合員からの評価は高く、その後も一定した供給数を維持しています。

役員会報告

さんえすクラブ事務局長 小林 利明
共生食品(株)

5月下旬から6月初旬にかけて開催された、各生協及びW.Co協会の総代会へ、役員・事務局から下記人数が出席した事を報告致します。

4月30日(木) W.Co協会	1名参加	5月29日(金) 横浜北	1名参加
5月29日(金) 横浜みなみ	1名参加	5月29日(金) かわさき	1名参加
5月29日(金) 湘南	1名参加	5月29日(金) さがみ	1名参加
6月2日(火) 福祉クラブ	2名参加	6月11日(木) ユニオン	2名参加

訃報

平成27年8月7日 生活クラブ生協ユニオン政策調整部 副部長 星野 裕様が、ご逝去されました。故人におかれましては、昨年度まで生活クラブ生協ユニオン事業部のさんえすクラブ担当事務局として多大なるご尽力を頂いており、さんえすクラブ一同、今後感謝に堪える事はありません。心よりお悔やみ申し上げます。

情報部会報告

(株)佐藤印刷所
山田 恵介

情報部会では9月からの新年度も、基本的活動は継続しようと計画しています。それは、ホームページの定期的な更新と生活クラブフェイスブックとの連携や会報の発行等ですが、限られたメンバーで、思う様に出来ていない部分も有ります。消費材紹介等の情報提供と、部会参加といったご協力を、より一層お願い致します。

交流企画部会報告

(株)ニッコー
山崎 雅文

交流企画部会では、さんえすまつりに加えて事務局長との交流や共有の場を行うようになりました。昨年から実施し始めましたが、今年8月4日に行い事務局長からは実際の現場における課題を生産者と共有しつつ、今後どのようにその課題を乗り越えていくかなどを協議して有意義な時間を今年ももつことが出来ました。まだまだやらなくてはいけない課題がたくさんありますが、よりこれからも共有し合い一緒に取り組んでいきたいと強く思いました。



●第20回ふくしまつりに参加しました。

(株)カジノヤ 宮下正一

6月7日曜日快晴。全22会場に昨年より大幅増の8,250名を集め、記念すべき第20回のみつりは成功と相成りました。弊社はお漬物でお馴染みの(株)浜食さんと共に、新しい会場である多摩区の稲田公園にて、おまつり価格で販売致しました。ここ数年のみつりは天候に恵まれています、食品を扱う生産者としてはお天気すぎるのも困っていました。新会場は木陰も有りとても素晴らしいロケーションでした。来年は浜食さんを見習い、きっちり納豆を売り切ろうと思う次第です。



生産者の大久保さんの畑で行われました。生活クラブ、福祉クラブ、さんえすクラブから、ご家族も含めて30名以上の参加をいただき、今年も大盛況でした。



大久保さんが作った冬瓜の屋根の快適な会場で、美味しく楽しく親睦を深めることが出来ました。

●今年も大盛況！ バーベキュー&懇親会

9月5日(土)、今年で3年目となる「バーベキュー&懇親会」が、生活クラブ農産物協議会・鴨居東本郷

●さんえすクラブの活動に向けて

生活クラブ生協ユニオン事業部 島岡 之



今年の春からさんえすクラブの事務局を担っている生活クラブ神奈川事業部の島岡です。

微力ではありますが、連携強化を図り、それぞれの活動の発展に少しでも力になればと思います。

どうぞ宜しくお願い致します。

2014年度通期データ

1. 生活クラブ組合員人数報告 (15年3月末)		2. 生活クラブ供給報告 (4月~3月累計)		デポ 17,499円	
班・戸配	46,015人	班・戸配	144億5,005万円 (97.8%)	3. 福祉クラブ報告	
デポ	22,998人	デポ	47億5,117万円 (102.2%)	組合員人数	16,415人 (15年3月末)
計	69,013人	計	192億123万円 (99.3%)	供給高 (4月~3月累計)	25億417万円
		一人当たり利用金額			(前年比 100.0%)
		班・戸配	26,242円	一人当たり利用金額	12,821円